

## RCNP 研究会報告

- 1) 研究会タイトル: 10th APCTP-BLTP JINR-RCNP/RIKEN Joint Workshop on Nuclear and hadron physics
- 2) 開催日程: 2016年8月17日-21日 (5日間)
- 3) 開催場所: 理研仁科センター大河内ホール
- 4) 会議の概要: この会議はAPCTP/JINRの external activityの一環であり、そこに、理研とRCNPが加わった形の共催によって行われた。アジア周辺諸国の研究者が集まり最新の研究結果を議論した。プレナリー講演26、パラレル講演39、合計65の講演が行われた。ハドロン物理ではエキゾチックハドロン、ヘビークォーク、非摂動理論などを、原子核物理では少数原子核、ハイパー核、重イオン、核物質、中性子星などの話題が議論された。議論は幅広い分野に及んだが、それぞれの発表をゆったり行うことによって、お互いのアクティビティについて知る良い機会となった。特に若手からの積極的な参加があった。そのなかで共同研究のきっかけとなるような議論もあった。
- 5) 参加人数: 合計78人、うち日本人32名、外国人41名 (韓国、中国、ロシア、カザフスタンなど)。当初予想の50名を大きく上回る、特に海外からの参加が多かった。
- 6) 予算: RCNPに予算20万円を申請し、20万円を滞在費補助として執行した。またAPCTPから1万ドル、理研から50万円の補助を受けた。そのほか、学振の短期しょうへい研究者、科研費を利用した。
- 7) 組織委員: 組織委員: 保坂淳 (委員長、阪大RCNP)、岡真 (東工大)、肥山詠美子 (理研)、初田哲男 (理研)、土井琢身 (理研)、土手昭伸 (KEK)、兵藤哲雄 (京大基研)、Jie Meng (Peking), Qiang Zhao (IHEP), Hee-Jung Lee (ChungBuk), Yongseok Oh (Kyungpook), Hyun-Chul Kim (Inha), Nikolai Kochelev (Kazakhstan)
- 8) 連絡責任者: 保坂淳 (RCNP) hosaka@rcnp.osaka-u.ac.jp